

う さ ぎ の 耳

聴くことは社会貢献の第一歩 !

74号 (2023年2月1日)
福津市社会福祉協議会内

◇ 会からのお知らせ

- 1 ふれあいコール関連 : 12月、1月とも5件でした。
- 2 癒しのカフェ 2月3日10人が参加し、豆を頂きました。1月6日は8人の参加がありました。傾聴カフェは気軽にお話をして頂く場です。これまで参加されていない方も来ていただき、四方山話に花を咲かせましょう。
- 3 福岡県福祉協議会主催のきずなフェスティバルが、2月19日(土)春日市クローバーホールで開催されます。
- 4 令和5年度総会を4月20日(木)、行います。
- 5 イオン黄色いレシートキャンペーン、毎月11日に行われています。レシートをボックスに入れて資金を集めましょう。

◇ 会員の広場

自分発見と学び

山崎 正弘 会員

20歳後半から30歳前半に掛けて、飛行試験の報告書作成の機会が多かった。文章が上手くなく、文章との格闘の時期でした。新聞記事を真似たりして練習しましたが余り効果なく、自分で日記を書くことが一番ではないかと思いそれ以来継続して今に至っています。お陰で文章作成に対する逃避感は消えたようです。概ね葉書に書く程度の分量を日記として記載しています。毎日変化のある生活でなく、単調であるため話題を探すのにひと苦労する時も有りますが、折角ここまで来たのだからと怠けないようにしています。

記述していて自分の字の下手さ加減にがっかりして、これではいけないと一念発起したのが平成の初め頃です。毎日指の訓練をして4、5年ぐらい経ったとき少しはましになり、他人様に見せても良いかなと思う程度には変化したようです。今では、万年筆で書くことの楽しさを味わっています。

このように来し方を顧みると、文章や字に限らず、自分発見の場であり、自らの足らざるを補う学びの場ではなかったかと思っています。

ただ現に書いている文にせよ字にしても、この程度が私の限界だろうと思っています。そこに完璧さを求めず、むしろ他に不足していることに手を広げることも人生を豊かにする一つの生き方ではないかと学び続けているところです。「人生の目的は、学ぶことであり、学び始めるのに遅すぎることはない」が、私の最近の処世訓です。

